

# 哲學研究

第四十七卷 第二册

第五百四十四號

昭和五十七年四月二十日發行

随眠と帰属の理論(承前)……………山内得立

デカルトの自由意志論……………西村嘉彦

相互作用論から見たキャリア分析……………宝月誠

——ジャック・ローラーの解釈——

ヘーゲルの啓示宗教論……………水見潔

書評 浜田義文『カント倫理学の成立——イギリス

道徳哲学及びルソー思想との関係』

……………小熊勢記

彙報

京都大學文學部内  
京都哲學會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
  - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく  
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會は賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年三、六〇〇圓（會誌四冊分を含む）を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

## 京都哲學會役員

委員

池田 三武 伊藤 照一 上田 能一 梶山 好修 木曾 井平 酒井 丞三 佐々木 善明 清水 御代 清水 御代 竹原 村創 辻村 久公 中谷 裕一 西谷 裕一 長谷 正裕 服部 正裕 平野 俊二 藤澤 令夫 宝月 克己 御牧 月 水垣 吉良 本吉 垣良 森吉 垣良 山口 美都 山岡 健二 吉田 晶郎

Snodgrass, Dundee J.

1972 *The American Criminological Traditions*. University Microfilms.

Sebbins, Robert A.

1970 Career: The Subjective Approach. *Sociological Quarterly* 11: 32-49.

Strauss, Anselm L.

1977 *Mirrors and Masks*. Martin Robertson.

〔本稿は昭和五六年一〇月三十一日京都哲学会で行なった講演を加筆修正したものである〕

(筆者 ほうげつ・まこと 京都大学文学部〔社会学〕助教授)

前 号 目 次

随眠と帰属の理論……………	山内 得立
論評と構築とのあひだ……………	酒井 修
物理学と宇宙論における最近の試み…	佐藤 文隆
——統一ゲージ理論と力の法則の相対化——	
カントに於ける最高善の	
実践的必然性に関する一試論……………	北岡 武司
書評	
Friedrich-Wilhelm von	
Herrmann: Heideggers	
Philosophie der Kunst ……………	加藤 哲弘

ぎのことが示されている。(1)人間の認識能力の吟味によって、英知界の認識(理論的形而上学)は否定される。(2)しかし、他方、その吟味そのものが新しい形而上学として、いわば「経験的形而上学」として登場する。(3)道德の問題は、形而上学や理論的認識から独立に探究されねばならない。(4)伝統的形而上学における神や不死の問題は、理論的認識としては否定されても、道德的信仰としてとらえなおされねばならない。これらの考えは、批判哲学と批判的倫理学との、基本構造の枠組みを示している。それが『視靈者の夢』において、すでに一応成立している。もとよりこの書物で成立した基本構想は、まもなく『就任論文』によって否定され、その後批判哲学が形成されてゆくなかで、再び——そしてこんどは最終的に——とられることになる。しかしわれわれは、とにかく『視靈者の夢』において、この構想がひとたび成立したことを高く評価したいと思う。

先に述べたように、以上の批評は、この著書の成果に目をみはりながらも、異なる観点からあえて二、三の疑念を表明したものである。この書物の全体としてのすぐれた価値をそこなうものではないであろう。著者の創見と努力に重ねて敬意を表しつつ筆を擱く。

(了)

(筆者 おぐま・せいき 竜谷大学文学部〔哲学・倫理学〕教授)

## 前号(五四三号)の誤植訂正

	誤	正
二頁六行	anu-si	anu-si
二頁八行	ἐνδρακίμων	ἐνδρακίμων
二頁十四行	ἀνα	ἀνα
二頁十七行	αννας	ανας
二頁十九行	prapti anusangatah	prāpīyanusāṅga
三頁一行	anuserate	anusērate
三頁二行	anubadhanti	anubadhanti
四頁十三行	ἀναρπύλατος	ἀναρπύλατος
四頁十六行	ἐξ ἀνυολας εἰς	ἐξ ἀνυολας εἰς
	ῥυθμῶν μεταβολῆν	ῥυθμῶν μεταβολῆν
十三頁十八行	ものではないではない。	ものではない。
七十一頁十六行	Hegel seigenhandiger	Hegels eigenhandiger
八五頁八行	この要請はまた。	この要請はまた、
八五頁十行	方向が存在せず。	方向が存在せず、
九九頁十四行	transzen entale	transzendentalte

哲学研究 第五百四十四号

成田朋子 認知行動の発達と言語機能

寺田ひろ子 ことばの獲得期における乳児の発達

小椋たみ子 心理治療における象徴過程の意義

—— 一方法論の展開 ——

社会学

中道 実 成層・移動・エリート

青木康容 権力の概念

美学美術史学

安藤邦洋 カントにおける美の意味

潮江宏三 十八世紀 *Picturesque* の風景画に於けるア

レクサンダーカズンズの意義

五十嵐節子 カール大帝の宮廷礼拝堂に関する一考察

三浦信一郎 「美的なもの」をめぐる自然と自由

(シラーの「カリアス書簡」を中心として)

五 京都哲学会公開講演会記事

昭和五十六年度の京都哲学会公開講演会は、十月三十一日(土)午後一時から、京都大学文学部第七教室において、中久郎教授の司会により左記の如く行われた。

一、相互作用論からみたキャリア分析

京都大学助教授

宝月 誠氏

一、日本古典の哲学的研究

—— 古事記を中心として

京都市立芸術大学教授 梅原 猛氏

講演会は盛会であり、また、終了後、楽友会館において、宝

月、梅原両氏を囲んで、約二十名の会員が晚餐を共にしつつ、

討論、歓談のひとときをすごした。なお宝月氏の講演内容は、

本号に収録されている。

次 号 論 文 予 告

随眠と帰属の理論(承前・完)……………山内得立

共同体論における共同性の問題……………中 久郎

「分割法」考案……………小池澄夫

—— プラトン後期対話篇への視点 ——

主観と自覚性……………酒井 潔

—— ライフニッツ形而上学の根本問題 ——

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都二一四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓、但し、會誌四冊分）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います  
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田  
京都大學文學部内

昭和五十七年 四月十五日 印刷  
昭和五十七年 四月二十日 發行

編輯兼 京 都 哲 學 會  
發行人 京 都 哲 學 會  
編輯代表 酒 井 修  
編輯担当 伊 藤 邦 武

賣捌所 株式會社 創 文 社

久 保 井 理 津 男

東京都千代田區一番町一七番地  
振替口座 東京二一九二四七二  
電話東京二六三一七二〇（代表）

印刷所 曉印刷株式會社

東京都文京區関口一―二四―八

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價九〇〇圓、送料・六〇圓）前金にてお送り下さい

昭和五十七年四月二十五日発行

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES  
THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XLVII

April

1982

No. 2

---

---

Articles

*Anusaya und die Theorie der Zurechnung* (II)

.....Tokuryu Yamauchi

*Le Libre Arbitre chez Descartes*

.....Yoshihiko Nishimura

*Career Analysis : an Interactionist Perspective*

—*On the Interpretation of Jack-Roller*—

.....Makoto Hogetsu

*Hegels Lehre von der offenbaren Religion*

—*in der „Phänomenologie des Geistes“*—

.....Kiyoshi Himi

Book Review

*Yoshibumi Hamada : Kant Rinrigaku No Seiritsu*

*Entstehung der Kants Ethik*.....Seiki Oguma

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan